

# 被災地の児童 夢のまちを描く



岩手県山田町の小学生たちが未来のまちを描いた絵画が並ぶ会場(京都市右京区・イオンモール京都五条)

東日本大震災で被災した岩手県山田町の小学生が夢や未来を描いた絵画の展示会が、京都市右京区のイオンモール京都五条で開かれている。元通りの生活を取り戻したいとの願いや、津波に強いまちづくりへの期待が込められた作品が並んでいる。

京都チェリー、京都薫風、

## 右京で絵画展

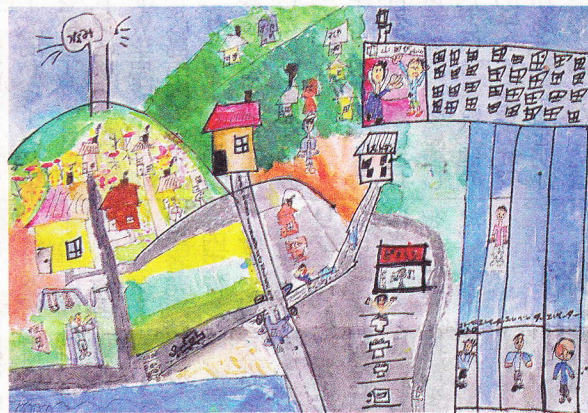
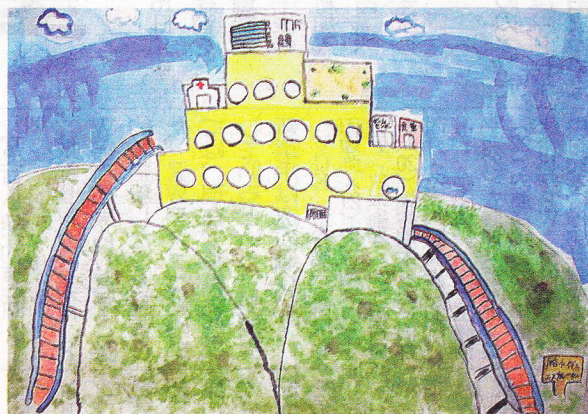
京都むらさきの3ライオンズクラブが主催した。

3者は、被災地支援のため合同で6月にチャリティ茶会を開催した。その収益を元に、絵の具やクレヨン、画用紙などを購入し、同町の陸中山田ライオンズクラブを通じて10校の子どもたちに送っていた。このほど、「夢」「未来」をテーマに、子どもたちが学校や自宅、仮設住宅などで描いた絵画150点が届いた。

## 津波に負けぬ 思い込め



力子を養殖する人を描いた作品



た。  
養殖いかだで力子を育てる人や公園で遊ぶ子どもたちなど、被災前の生活を大

切に思う気持ちを生き生きと表現した作品が並ぶ。山頂に立つ小学校や下層階に窓がない建物、高い地にある病棟へエレベーターで上がる病院など、津波を経験した子どもたちが安全なまちづくりの夢を託した絵もある。  
裏面に「お父さんがまた漁に行けるようになればいいな」などと願いを書いた作品もあったという。展示会を開いた実行委員会代表の村上美恵子さん(63)は「北区IIは「子どもたちの復興への思いが伝わる作品ばかり。絵を見て、私たちに何ができるか考えてもらえたらうれしい」と話していた。22日まで。無料。」

(山田修裕)

①山頂に立つ学校や病院、食堂などの複合施設の夢を描いた作品  
②高い所にある病棟までエレベーターで上がる病院(右)や津波の危険を呼び掛けるサイレン(左)など、津波を経験した子どもならではの作品